

平成29年6月29日(木)

県政 F ネット

感染症の予防のための
情報提供について

連絡先	
三重県健康福祉部 感染症対策班	薬務感染症対策課 担当：松本・小掠 電話：059-224-2352

病名	腸管出血性大腸菌(O26)感染症		
年齢及び性別	11歳・男性	職業	小学生
住所	津市		
発病年月日	平成29年 6月15日		
診断年月日	平成29年 6月28日		

(患者発生の経過)

6月15日 腹痛、嘔気症状がみられた。
6月16日 腹痛、下痢便(3~4回/日)、発熱(38℃)、嘔気、食欲不振の症状がみられたため津市内の診療所を受診。
6月21日 腹痛、下痢便(3~4回/日)の症状が継続したため、再び同診療所を受診。
6月28日 6月21日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌(O26)感染症と診断された。
6月29日現在、患者に症状はありません。

【防疫措置】 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施(津保健所)

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
患者	44	39	27	29	8
保菌者	18	19	10	15	6
計(感染者)	62	58	37	44	14

※平成29年1月1日~平成29年6月29日現在まで本件含む
平成29年内 患者：O157(5人)：O26(2人)：型不明(1人)
保菌者：O157(5人)：O26(1人)

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。
肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。
焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。
井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。
冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。